

ディーラーの独り言（2018年1月25日）

◆本日の予想レンジ

ドル円 108.50～109.60

昨日のマーケットは典型的なドル独歩安だった。東京時間早々に110円を割り込んだドル円は、一旦109円台を見たことで買戻しモードになるかとみていたが、反発は110円34銭に留まり、しかも長くは続かなかった。一昨日作ったロングポジションも2回目の110円を割れで潔く損切り、これで2日連続の負けとなった。その後も日経平均が下げ幅を広げる中、ドル円の下げを止める材料が見当たらず、ズルズルと値下がりが続いた。そこに追い打ちをかけたのがムニューシン財務長官のドル安歓迎発言だ。ニューヨーク時間にロス商務長官やサンダース大統領報道官が財務長官の発言の火消しに出たが効果はなく、ドル円は109円も割り込んだ。今週に入ってから下落は、日銀が23日の政策会合で現状の政策を維持、新たな手立てを講じなかった上に米国が16年ぶりに緊急輸入制限(セーフガード)を発動して、保護主義に傾く動きを強めたことが強く影響した。一方、原油価格の上昇もドル安の要因となっているようだ。昨日のニューヨーク市場の原油価格は、約3年1ヵ月ぶりの高値を付け、資源国通貨のカナダドル、英国ポンド、豪ドルが買われている。こうした動きがドルインデックスの下落を強め、ドル円の上値も抑えている。ここまで買い材料がないとあまり強気にはなれない。本日は五・十日なので、仲値で買われたところでショートに傾け、108円50-60銭で買戻すイメージで攻めたい。本日のECB理事会や、今週はスイス・ダボスで経済フォーラムが開催されており、各国当局者からの発言にも要注意だ。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。